

藤澤南岳 ふじさわなんがく 儒者。天保十三年九月九日讃岐國生れ、大正九年一月三十一日歿（一八四二—一九二〇）。講九章、字君成、通稱恒太郎、恒と修す。藤澤東暎の長男。大坂の泊園書院を父から繼承して數千の門人を教育。その高松藩に仕へ、戊辰戦後は藩の保全に盡力。藩塾講道館格學となし、明治二十年大成教會を興した。

著書に、『弘道新説』（明治二十一年二月二十日自刊）、『七輯』全三冊（編、明治四十四年十月六日大阪・泊園書院）、『文章九彩』（大正五年四月一日大阪・自刊、村樂路屋發賣）等。

